

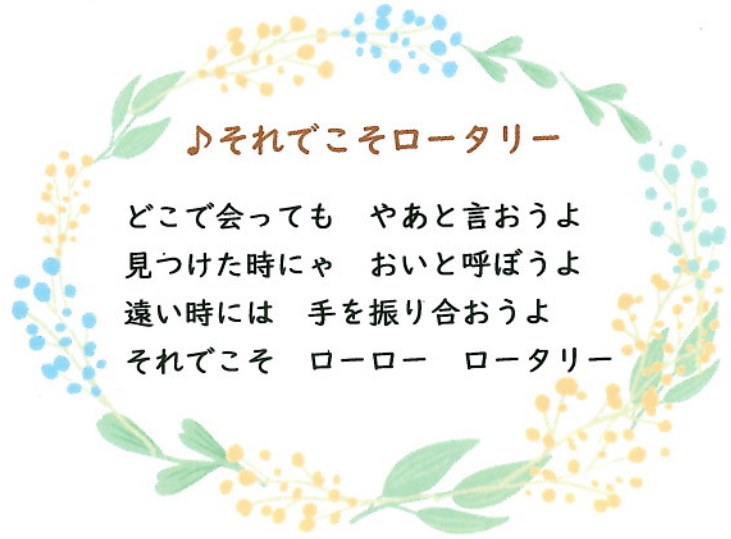


名護ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2580地区
NAGO ROTARY CLUB WEEKLYREPORT

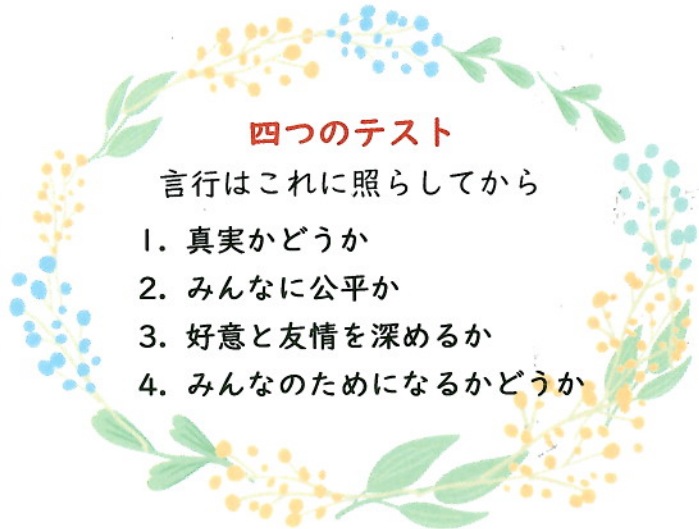
国際ロータリー (RI) テーマ: **Rotary Connects the World**

2020~2021年度 国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク



♪それこそロータリー

どこで会っても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それこそ ローロー ロータリー



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

第2145回定例会記録7月15日(水)

司会進行 (SAA) 宮里 一志 職業奉仕委員長

- ① 開会の点鐘 【儀保 充 会長】
- ② ロータリーソング 「♪それこそロータリー」
- ③ 四つのテストの唱和 【新城 文江 職業奉仕委員長】
- ④ 会長挨拶 【儀保 充 会長】
- ⑤ 幹事報告 【前田 裕子 幹事】
- ⑥ 委員会報告 儀間敦夫会員
・花壇清掃 7/22 16:00~
荻堂盛清会員
・定例親睦ゴルフの案内
新城文江
・ロータリー国際大会について
- ⑦ 卓話 2010-11年度会長
具志堅 興計さん
演題『10年前のIMを振り返って』
- ⑧ 出席報告 【儀間 敦夫 社会奉仕委員長】
- ⑨ 閉会の点鐘 【儀間 充 会長】

7月定例会予

- 1日(水) 理事会・定例会
- 8日(水) ガバナー補佐訪問
- 15日(水) クラブ協議会
- 22日(水) 夜間例会
- 29日(水) 休会

卓話者予定 未定

ニコニコBOX

小計 0

累計 ¥11,000

次回よろしくお願いたします。



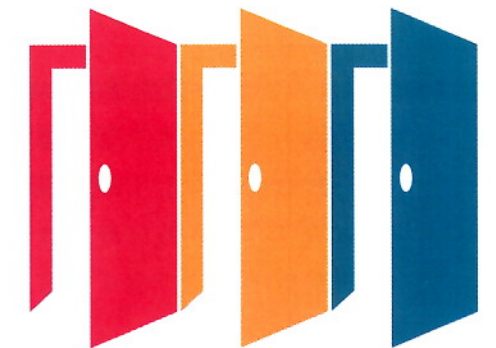
名護ロータリークラブ

創立: 1974年6月26日

地域: 沖縄県本島北部全域

会員数: 36名

(2020年6月24日現在)



ロータリーは機会の扉を開く

昭和50年 本部町で開催された沖縄国際海洋博覧会に、
世界のロータリアンの為のメイクアップの場所として名護RCが設立されました。

名護ロータリークラブテーマ 「絆を強く・輪を大きく」

- ・例会日: 水曜日 12:30~13:30 毎月最終水曜日 19:00~20:00
- ・例会場: ホテルゆがふいんおきなわ (名護市字宮里 453-1)



会 長: 儀保 充	【事務局】〒905-0011 名護市字宮里 453-1
副会長(EL): 吉田 勉	【電話&FAX】0980-53-4568 (直通)
副会長(ミニ): 濱元 清	0980-53-0031 (内線 232)
幹 事: 前田 裕子	【HP URL】http://www.nago-rotary.org/
会報委員長: 崎濱 秀光	【E-mail】office@nago-rotary.org



名護ロータリークラブテーマ

『例会出席でロータリーを体感しよう』

儀保 充 会長 体制スタート

7月から新しい年度が始まって3回目の例会となります。先週、安里政見分区ガバナー補佐、名嘉義明分区幹事が名護クラブを訪問していただきました。新年度がようやくスタートしました。現在不安定な環境にあっても自由度のあるクラブ運営について多くのご意見とご指導を頂戴しました。

さきほど初のクラブ協議会が開催されました。名護ロータリークラブ2020～2021年度のテーマを「例会出席でロータリーを体感しよう」といたしました。

新型コロナウイルスの感染拡大予防の観点から自粛、待機してきた生活を感染拡大予防に最大限留意して、まずはクラブの例会に出席して相互親睦や奉仕活動をぜひ自分の体で感じて、あらためてロータリー活動の楽しさ、有意義なロータリーライフにしていきたいと思っています。

先週、石川雅弘パスト会長から名護市花の里づくりの会へ寄付金の贈呈がありました。石川さんは那覇市天久で生活していますが、名護に行く機会がない。月に1度は名護で模合しているということで、呼んでもらったらいつでも来ます、ということでしたので、12月1日のIM（インターシティー・ミーティング）にぜひ招待したい。

昨年度、比嘉会長のときからスタートした定例コンペも無事終わりました。見事に比嘉前会長が優勝と絵に描いたような楽しい親睦コンペができました。嵐山ゴルフ場も来年6月までの営業と報告を受けていますが、それまでにコンペに、できれば元会員、経験者、興味のある方々を誘って会員増強につなげていきたい。

来年6月国際大会が台湾で開かれます。会員の中には大変な台湾通が何人もいますが、楽しい台湾を案内していただければと思います。慰安旅行の一環としていただければ楽しい旅行になるのではと思います。

大宮中学校に岸本直也青少年奉仕委員長といっし



テーマも決まり今年度の抱負を語る
儀保 充 会長

よに、上間寿樹野球専門部長にあいさつに行きました。8月の中体連が終わってからの9月の中学校新人野球大会は何ともいえないということでした。子どもたちの青少年の育成のための一環であり、子どもたち優先、安全な大会にするための最大限の努力をしますということでは話が進んでいます。その中で米軍の普天間基地の中で発生した集団感染、海兵隊ということでは金武町の方まで影響が広がっている。もし金武町で感染者の報告があれば大会の方も危ないのではないかと話もありました。

残念なことでありますが、中学生たちの親善の交流試合も金武地区の学校とは試合を控えているということも聞かれました。大変恐ろしい病気ではあるんですが、いろんな意味で差別につながらないように、大人の見方をしていけないと、ふざけた感じで言ってしまうと人を傷付けたりしてはならず、大人がちゃんとした見本を示していければと思っています。

あいさつもマスクをしては息苦しく、このぐらいにしておきます。



『10年前のIMを振り』

2010-11年度会長

具志堅 興計さん

さきほど副会長の吉田勉実行委員長からIMについて話してくれといわれました。実はそのときのガバナー補佐が多良間朝時さんという方で、かなり癖が強かったのですが、テーマを（民間救急ヘリを運航する）「メッシュサポート」にしました。小濱正博先生にご講演いただいて、50万から60万円をメッシュに寄付しようと、お金を捻出し、会場でも募金をしてそれを足して寄付をしました。そのときのテーマは、県のIMでもあるし、反対されるとまずいと思ったが、調べてみると、観光客だとか中南部からバイクでツーリングした人がけがするとか、国頭で旅行客がおぼれたとか、北部以外の人が多いこともあって県全体で考えようとしてそれをテーマにした。多良間さんにいいんじゃないの、と通してもらいました。

テーマは主催する側の考えていいですと、費用も名護の方に全部振り込まれる。別にその都度その都度ガバナーからもらうものではなく、あくまでこっちが主体ということです。朝から晩までずっとやっていたのをこれはきつから半日で終わらせようと、各テーブルを各クラブの委員会ごとに設定して話し合った記憶があります。

恒例でお土産とか小さな袋に入れて持って帰るんですが、オリオンビールさんとか、泡盛とか、確かシーカーサーあったのかな、黒砂糖とか、それにも費用がかかるので、予算書を出したときに寄付もしないといけないので、切り詰めてやりました。

テーマはせっかくの機会ですから、名護がやりたいものを会長に決めてもらって、向こうからこれですよとやる気のないものを手伝いだけとなると心から応援できないことがあるので、名護はこれをしないといけなとか、ロータリーはこれだなというテーマを決めて、会員にもそうだなとわかるものをテーマにもらいたい。早めにテーマを決めて早めに工程表、行事日程表をつくらないと、意外と日数が足りなかったりするもんですから今週にでも、極端にいえば会長、副会長、幹事でテーマを決めて、どんどん進めていかないと難しい。予算はしっかりどれだけ使うのか早め



2010-11年度会長時のIMの経験を語る
具志堅 興計さん

に把握して、自分たちがどれだけ使えるのか、会長らの気持ち一つで動けばいいかなと思います。

私の場合はIMと野球の30周年の記念セレモニーもあったので、大変ですね、といわれたが、逆にあった方が会員もまとまる。それプラス次男の披露宴もあり多忙だったが、あると勝手に足が動くもんです。野球にしても社会奉仕にしても決まっているものは普通に進んでいく。動きがないのが出席委員会とか会員増強とか、職業分類とか。そこを動かすのが大変だが、社会奉仕、青少年は動くから何の問題もない。動ける部分と動けない部分をより分けていけたらと思います。別にIMがあるから大変ではなくてかえって皆さんにお願いすることがあれば、勝手に人数も増えていくもんですから、早めに会長、幹事が仕事を割り振って責任を持たせた方がいいと思います。

